


研修報告書

担任印	園長印	理事長 (送信日)
		
記入日	提出日	
10/23		

天気	報告者
平成28年 10月11日 場所 5 15日	研修題目 2016年度シンガポール海外研修
時間	講師名

研修内容・学んだ事・感想

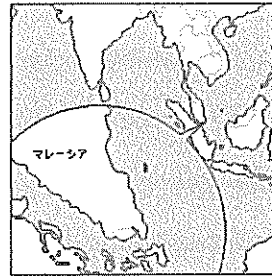
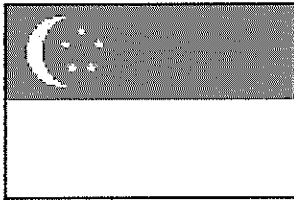
シンガポール研修 研修報告

研修期間 2016.10.11～15

視察をした園

- 1、アセンションキンダーガーデン
- 2、キャタピラーコーブ チャイルドデベロップメント&スタディセンター
- 3、チェリーハーツ ディスカバリーランド
- 4、オデッセイ ザ グローバル プレスクール
- 5、EIS インターナショナル プレスクール 日本人のための幼稚園

シンガポール共和国 (Republic of Singapore) について



基礎データ

- 1 所在地 地図参照
- 2 面積 約 719 平方キロメートル (東京 23 区と同程度)
- 3 人口 約 554 万人 (うちシンガポール人・永住者は 390 万人) (2015 年 6 月)
- 4 民族 中華系 74%、マレー系 13%、インド系 9%、(2015 年 9 月)
- 5 言語 国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語。
- 6 宗教 仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
- 7 歴史 1400 年頃 現在のシンガポール領域にマラッカ王国建国。
1824 年 英国の植民地となる。
1965 年 マレーシアより分離、シンガポール共和国として独立。
- 8 政体 立憲共和制 (1965 年 8 月 9 日成立) (英連邦加盟)
- 9 内政 安定している
- 10 通貨 シンガポール・ドル (S ドル)
- 11 気候 年間を通して気温差がなく平均気温は 27℃前後。日中は 30℃を超える。
11 月～2 月にスコールが多い雨季となる。

日本との関係

長年にわたり、両国間には大きな懸案はなく、要人の往来も活発であり、二国間関係は極めて良好

- 1、 為替レート 1シンガポール・ドル=約 80 円 (2016 年 5 月末)
- 2、 在留邦人数 (在シンガポール日本大使館への在留届数) 36,963 名 (2015 年 10 月現在)
- 3、 日系企業数 1,116 社 (2015 年 10 月現在)
- 4、 日本とのアクセス 日本とシンガポール間は直行便が数多く運行しています。
東京-シンガポール直行便の所要時間は 6 時間半～7 時間半。

その他 シンガポールでの住宅事情 生活について

1 住居



コンドミニアム 大型マンション

周りにはかべがある 富裕層「国民の20%」

プール、ジム、テニスコートが併設



公営住宅 壁はない

「国民の 80%」

2 物価

シンガポールの生活レベルはアジア諸国の中でも特に高いレベルである。

アジアで最も物価が高い都市の1つとして上げられている (*東京7位)。

住居費と教育費が非常に高く、生活していくための費用に関しては高いものから安いものまで多くの選択肢があり、例えば、バスや電車による郊外-都心間の交通費は S\$1~2 程度 (90~180 円)、タクシーの初乗り料金は S\$3~3.4 程度 (270~300 円)、ホーカーセンターと呼ばれる大衆食堂での外食は S\$3~5 程度 (270 円~450 円) と、日本と比較しても安価である。

3 消費税 7%

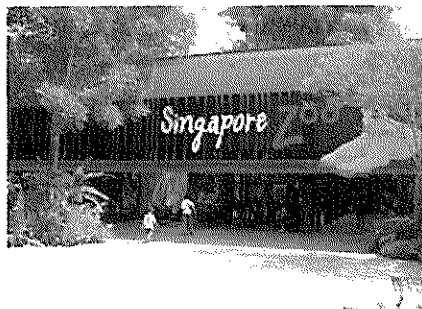
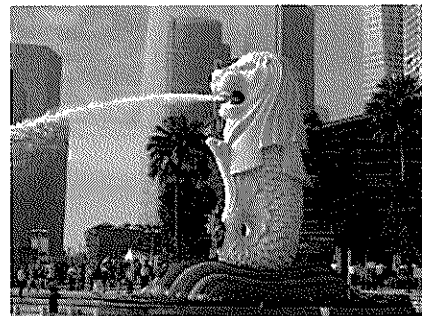
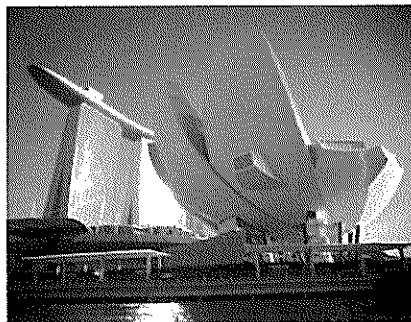
4 メイド (家政婦)】

シンガポールでは家事や子育ての手伝いをする住み込みのメイドを雇う文化が浸透しており、5世帯に1人が住み込みメイドを雇っていると言われています。共働きや子育てに忙しい家庭などでは大変助かる存在である。おもに外国人労働者である大抵の住居にはメイド部屋がある

6 交通機関

シンガポールの公共交通機関は国内を隈なく網羅しているので、移動には電車 (MRT) 及びバスの利用がよい

7 観光



6 その他 シンガポールには地震がない

7 教育について シンガポールは、国際的な学力調査でも明らかなように、世界でもトップクラスの教育レベルを誇っている。世界大学ランキングによると、「シンガポール国立大学 (NUS)」(26位) が「東京大学」(43位) を抜いて、アジアのトップを誇っている。国土が東京23区ほどしかないため。資源を持たない国であることから人的資源こそが国の唯一の資源であるため、「教育」を非常に重要視している。この小さな国で生き残っていくには 教育が一番の財産であると親は思っている。

学校の種類と学費

ローカル校、月額 S\$500~1,000

日本人学校 (小学部・中学部)、月額 40000 円~52000 円

インターナショナルスクールがある。月額 80000 円~240000 円

幼稚園・保育園...月額 40000 円~120000 円

幼稚園保育園の基本情報

★園の種類

- ・日系 日本人向け
- ・インターナショナル 外国人向け
- ・ローカル シンガポールの地元の人向け

★年齢別クラス

18ヶ月~2才 →Pre-Nursery プレナーサリー

2~3才 →Nursery1 ナーサリー1

3~4才 →年少 Nursery2 ナーサリー2

4~5才 →年中 Kindergarten1 キンダーガーデン1

5~6才 →年長 Kindergarten2 キンダーガーデン2

★時間帯、保育日数

- ・フルタイム→だいたい8時~19時。土曜は8時~15時半ぐらい。
- ・ハーフタイム→だいたい8時~15時半。土曜なし

上記の全日、週3、週2

★シンガポールの政府の幼児教育機関

ECDA (政府の幼児開発機関) 二年前から幼稚園と保育園を統括

幼稚園 キンダーガーデン 二年前からライセンスを取得 保育時間 3, 4時間 3~6歳

乳幼児 一日から半日 2か月~6歳

保育園 幼稚園とやっていることは一緒で。時間が違う

★政府幼児教育に関する対策

- シンガポールは国土が狭く天然資源がない為 資源は人間という考え方である
50年後を見据えて 移民の国にならないように政府が幼児教育に力を入れている
政府は労働力確保のため国民には60~65歳まで労働してもらい 経済がまわるようにしている。

●政府の少子化対策について

出産時一時金 1000S\$ (80000円)

教育資金にしてもらおうと 政府から貯金と同額を6年間寄付してくれる (子ども4人まで)

保育料の補助金が各家庭に支給されている 300S\$~1000S\$

対比人数 0~1歳 1:3 2歳 1:7 3歳 1:12 4歳以上 1:15

シンガポールの保護者達は幼児教育に大変関心があり、気にいた幼稚園に通うために引っ越しをする人もいるほどです



ascension=上昇する又はキリストの昇天を意味する



★概要

開園51年目

★基本方針

キリスト教の教えである

ここに通う子供たちの保護者の多くは中流家庭であり、キリスト教に理解を示している。

強くあれ、神を愛せ、わかちあう精神を基本にしている。大きなスローガンは「YOU CAN DO IT」である園に入ると子どもたちに守ってもらいたいこと、日常的に言ってほしいこと、スローガンが貼ってあり、常に子どもの目の入るようになっていいる。例えば、片付けること 先生の話聞くこと 時間の管理をすることなどである それを常に声に出して唱えている、言葉には力があるため 見るだけでなく言葉に出すことで容易に実践することが出来るとのことだ。そして、自信 調和 忍耐 やり遂げるということを 知る そのような物事の価値観は子どもの教育にとってとても大切なことであると考えられている。

★保育について

3歳児クラス14人 7人ずつに2グループに分け 7:1でみている

この人数であれば 丁寧に子供たちと関わることができるためである

3歳は 匂いのかぐこと さわること かんじること が最も大切であると考えている

全体的に壁面装飾が多く、子どもたちの制作したものがいたるところに貼ってあり、視覚的、感覚的に

学習していることがわかる。 また、四季に関係した装飾が多く 聞くと シンガポールは四季がないが

子どもたちは世界中に旅行に行くため、四季がどういふものかを知ることによって世界を知ることにつながると思われている。また、グローバルな人材を育てるために四季はとても重要であると考えている。

この時期にアルファベットに触れるために制作をしたり言葉を作ったりする そして 保護者に見せることで自信に繋げさせている。

ひとグループが遊んだり絵本を読んでいるともうひとグループは学習をするようになっており、

言語は英語 中国語を習い 必ず 専門の先生がつく

学習時には子どもたちは必ず 自分の位置を指定されており、いる場所に線が引いてあったり、足形が床に付けられたりしているために 整然と先生の話聞き 行動出来るようになっている。

子どもたちが視覚的に自分の居場所がわかり、また先生も クラス運営がしやすいとのことだった。

また、四角い線の中でミニカーで遊んでいる子どもたちに争いがないことを尋ねると 取り合わないよう

たくさんのおもちゃを用意し、わかちあう、ゆずりあう ことを 常に伝えているということだった

そして 30分を単位に 活動を区切り、次の部屋、または外へと 移動している。

そうすることで、色々な環境に対応できる力をつける。

そして、三歳の集中力は30分であることから それによって たくさんの遊びをすることが出来ると共に飽きずに活動が出来るメリットがある。

部屋を出るときは次のクラスの為にきれいにすることを心掛けている

部屋は大きな部屋を区切って使うオープンコンセプトである

大きな部屋の隣には小さな部屋が二つあり 他の部屋と遮断されている。

そこでは英語 中国語の 学習が専門の先生によって行われていた、英語の部屋では左右を学ぶのに歌を歌いながら 右手左手 と声を出して体を動かしていた。

ホールでは5歳児が発表会の練習をしていて、演技を見せてくれた。 音楽に合わせて隊形移動をしながら声を出してとても上手に演技をしていた。

Hello my friend とあいさつをしてくれた。

階段をあがると 単語の学習教材が壁に貼ってあった。英語の単語を覚えるのに 子どもたちが言葉を考え、絵にしていた。廊下にはところせましと、子どもたちの作品が飾ってあり 個人の作品グループと共同作業の作品 があった。

二階には音楽、ダンス専用の部屋があり、ダンススタジオのような大きな鏡があった。

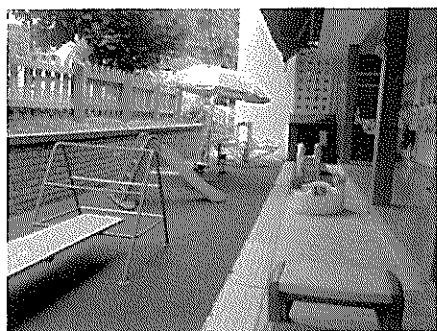
10畳ほどの広さで、発表会の練習の最初の段階ではこの部屋から始めているとのことだ、そして次にホールで、と だんだん部屋を大きくしていく。 指導の順序として、初めは狭いほど子どもたちに目が届き 指導がしやすい そして だんだん広い部屋に移行していくと子どもたちも少しずつ慣れていくのでよいということだ。

自由選択の部屋ではランチを食べるのを見学した。

子どもたちが順序良く入り 椅子に座り 先生の話の聞き、お祈りをした後 パンを取りに行き 食べていた 食事時間では先生は好き嫌いを減らすよう声掛けをしていた。

パソコンの学習について

K1 (キンダーガーデン1 5歳) K2 (キンダーガーデン2 6歳) では 小学校に入ると小2でプログラミングをするのでその準備の為にパスワードについてや画面の読み方などを理解できるように 部屋にはパソコンが置いてあり、先生の指導の下でパソコンを使えるようになっている。



園庭



校舎

★カリキュラムについて

一年を4期に区切っている 始まりは一月である

一期が10週間で学期学期の間に一週間の休みがある

10週間ごとのシラバスは廊下に貼り出されている。

★先生について

スタッフは50人 高卒 大卒 大学院卒で実力主義である

結婚、妊娠で退職してしまう 人が多く、そういうことがないようにするのが今後の課題である。

生半端な教育の基として エビも白身 何のために学んで どう成長するかを常に意識している

そして **自由**に自分たちが受けた愛を貢献することの出来る人間を育てている。

先生のほとんどはクリスチャンでキリスト教の教えを順守している。

子どもたちは神様からの贈り物であり、潜在能力を持っており、それを発揮できるよう 自分達が環境を作り出すことを使命としている

価値観という言葉大切にしている

学ぶことは楽しいことで意味深いものでなければならない

以上の事柄を徹底するには先生方の連携を密にしており、全ての先生が同じ考え 同じ言葉を使い 教育することを徹底している。

遊びの中で学習できるように工夫している

例えば、アルファベットを学ぶには 石を並べて 文字の形を作る

砂や葉でアートを作る

宝探しをする

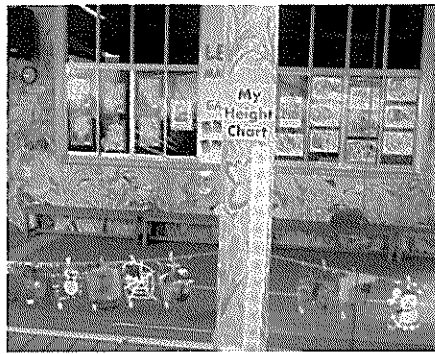
フライパンや鍋で音を出す

★施設、環境について、

小さい図書館があり、4~5歳は貸し出しもしている

~の日という日を設けている

いろんな仕事を知る日（警察が来て警察の仕事を教えてくれる、黄色の日（家から黄色のものを持ち寄って部屋全部を黄色のもので埋める）



子どもが自分で自分の感情のコントロールをすることについて

子どもが怒るのは当たり前のことである。その時に自分でどうするか戦略を考えて実践する。

そして怒りが起こった時にどう克服するかを考えさせる 深呼吸するなど。

★保育時間

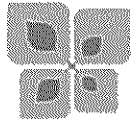
今のところ 幼児数に対して 敷地面積が狭い為

二部制になっている 一部 8:00~11:15 二部 14:00~17:15

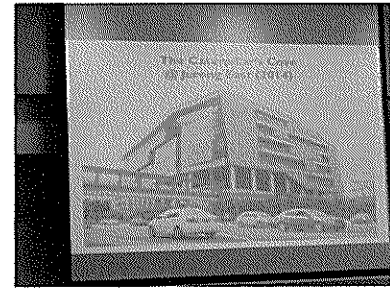
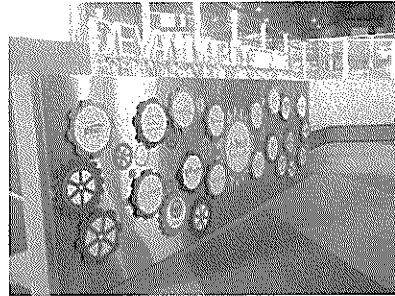
今後は一部制に変わりつつある

2016.10.13 AM

キャタピラーコーブ



The Caterpillar's Cove
Child Development and Study Centre



近代的なビルの中に様々な職業訓練の施設があり、キャタピラーコーブはその中の一つである
幼児教育の研究をする幼稚園である

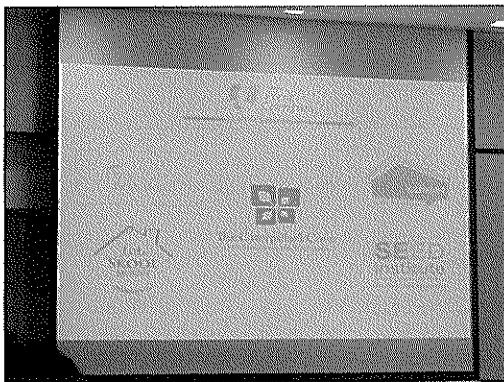
保護者はプログラムに興味を持って通わせている。その良さが口コミで広がっている

ビルの中には沢山の職業訓練の施設が入っている このビルは GOOD デザイン賞を受賞

★保育時間

月～金：午前7時00分～午後7時00分

土曜：午前7時00分～午後2時00分



★グループの組織図

幼稚園はライセンスを取得しなければならない

NTUC First campus シンガポール全体を総括するような組織

My first school 下層階級から中流の人たちの子どもを預かる 100以上の支店がある

(公団に住む人たちが通う)

After school house 学童

The caterpillar's cove 保育園

Little school 商業施設の中にある

Seed institute 先生を訓練するところ

★キャタピラーコーブについて

保育園の部類 一日か半日 2か月～6歳を預かる

一番の目的は研究である だいたい口コミで聞いて 研究と実際の保育との連携に興味を持つ保護者が多い

入るかどうかは、体験入園をし、カリキュラムを理解してからはいる

キャタピラー保育園は二つあり、

1つは Polytechnic=高等専門学校みたいなもの 2007年設立

資金は一億S\$ 官民、財団 からの投資で設立された

研究開発には多くの資金が必要

二つ目は このジュロンエスト校 設立資金6000万 S\$非営利団体から投資してもらった
国土が小さい為 ほとんどの幼稚園 保育園はビルの中にある

★方針

大人も子どもも一緒に楽しめる環境を作ることが大切であると考えている
先生の一人がいなくてもカリキュラムが進行するように 連携を取っている

0～3歳は

関係性を大切に、子どもとせんせいのふれあいを基本としている
遊び、探索、遊具 が必要 安心安全が礎である

4～6歳は

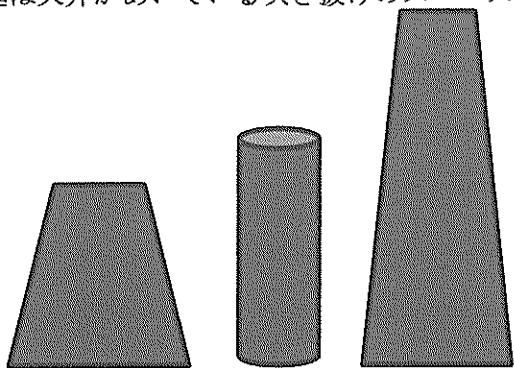
構造と教と文字が大切 すぐに小学校で必要になるため
強制や抑圧はしないが就学にむけての準備は必要と考える
ほとんどの子が2か国語（英語、中国語）を習得する
各クラス 専門の英語と中国の先生を配置
パソコンなど、テクノロジーについては
受動態でなく能動的に使いこなすことを目指している

★避難訓練について

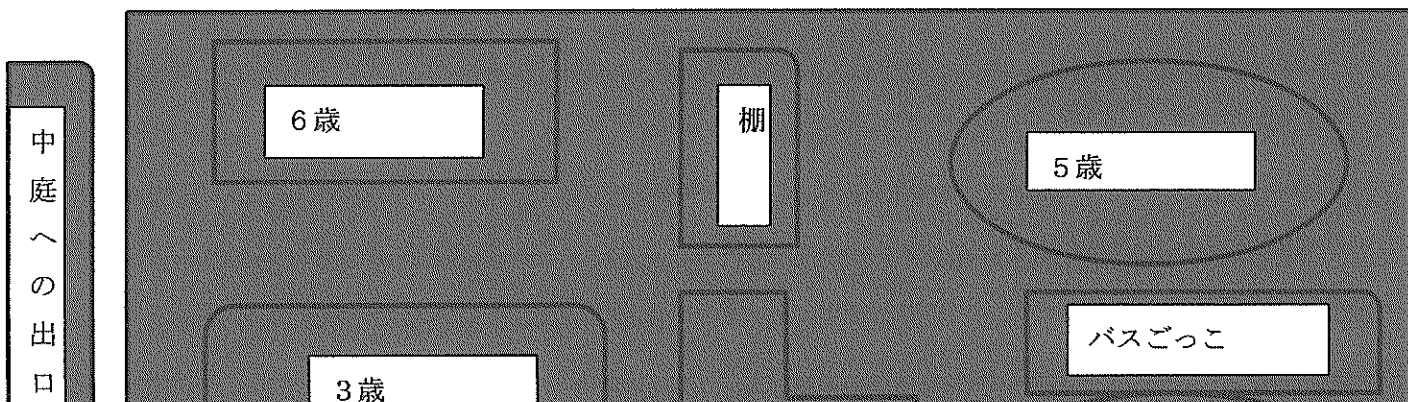
シンガポールは地震がないが 6か月に一回避難訓練が義務付けられている
比較的治安が良いので不審者などもほとんどいない

★園内について

内装は幼稚園建設の経験のないデザイナーを頼んだ
部屋はオープンスペースになっており 柵や仕切りで区切っている
庭は天井があいている吹き抜けのスペースで 砂場や下のような柱が建っている



中庭にはこのような柱があり、子どもたちの創造力が働くようにしている
すべりだいやぶらんこは公園にあり、親が連れて行って遊べるが ここにしかない価値のあるものを与えたい
という思いから



屋内には ダンボールで作ったバスがあり、バスごっこが出来るようになっている

5歳は絵本を読んでいた 中国版もつたいないばあさんがあった

ダイニングスペース

100人が順番にくるここで食べている間に 他の先生が部屋の片づけ等をする おもちゃを共有する

★子どもたちにつけたい力

- なぜ?と思考する力
- 計画を立てる力
- 基礎を習って応用する力
- 経験をさせる
- 全体との交わり
- 持続性

★保育料について

2か月～18か月 600S\$ (約48000円) 保育料が高い

3歳から～6歳は300S\$ (約24000円)

この保育料だけで運営している 60%は人件費である

保育士の給料は今のところあまり良くないが 今後改善しつつある

先生の質向上は投資であると考えられる

大体中流家庭の子どもが通う

低い人は政府の補助金を受けている

先生について

保育士は大卒が多い 学力よりスキルが必要

地域とのつながりについて

2つのグループに分かれた時 1つはビルの中を散歩する

もう一つはビルの外に出て図書館に行ったりする

小学校とも交流会をしている

このようにして地域社会を認識する力をつける

★研究成果について

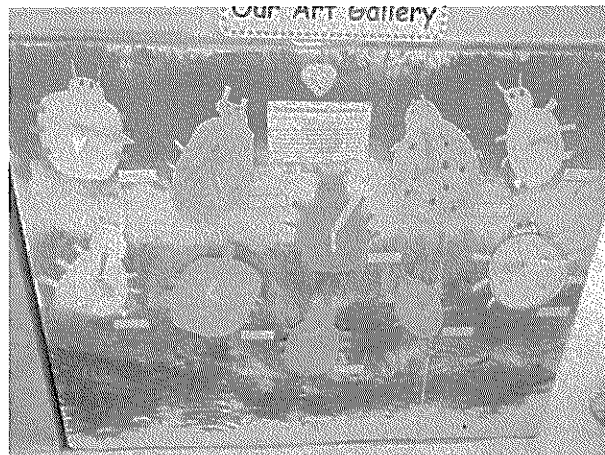
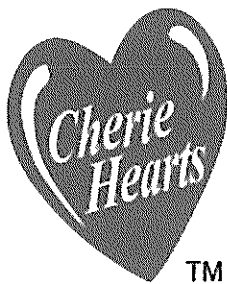
カリキュラムを実践→データをつくる→経過観察→専門家が分析

EX.現代アートをどうやって子供たちが鑑賞するかの研究は博物館、美術館と連携してやっている

研究課題を提出すると助成金が出る

EX.子供たちをどう観察し、評価するかという研究には20000S\$支給された

大学とも連携している



★概要

出来て6年目である ビルの中にある 私立で3か月～6歳の小学校準備の子どもを預かる
愛と思いやりを持って地域社会とつながることを目指している

12時間いる子どももいるので衛生と環境をととても大切にしている

フランチャイズ制の保育園であるが 他の園と質の均一化 カリキュラムや精神を同じにしている
質の高いカリキュラムを採用している

年に一回ファミリーデーがあり、遠足などに行っている

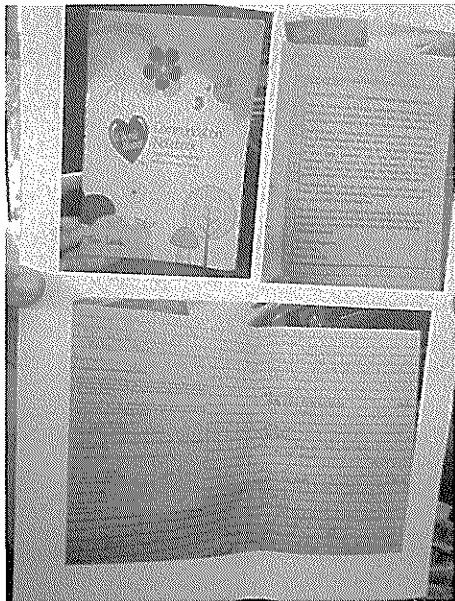
★方針 保育の考え方

- 尊敬の面を持つように、人だけではなく、遊具にも
- 信念を持つ すべての子どもはユニークで潜在能力を持っている
- 先生たちのチームワークを見て学んでほしい 卒園しても引き継いでほしい
- 学ぶことへの情熱を持ってほしい

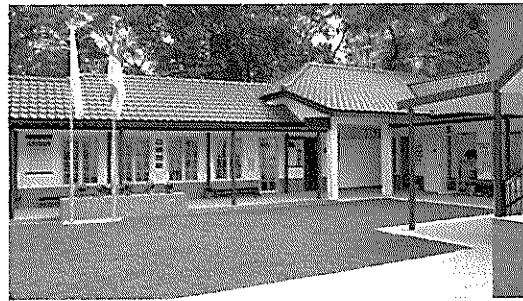
EX.病院のことを学ぶときには研修医を読んで教えてもらっている

また、交通や輸入のテーマで制作をしている

- 自分達で掃除をする
- 多様性を学ばせる 地球。植物。環境。動物 を紙に描いて貼って声に出す そしてここで学んだことを家に帰って実践してほしい 実際 家でゴミ拾いをした子どもがいた
- お金の正しい使い方を学ぶ
- 深く考えていく力を学ぶ
- 園で学んだことを家で生かし、また家で作ったものを園で飾っている
EX.てんとうむしのお話をし、絵や工作で作るそして飾ることで達成感を味わう
- 看護師について 看護師はいないが 先生は皆救急の訓練は打行けている
アレルギーについて どのこがどのアレルギーを持っているか壁に貼って周知している



保護者との連絡ノート



HP より

オデッセイグローバル幼稚園

★概要この地域は上層階級の人たちが住んでいて この幼稚園に通う子供もそうである。

園の概要

ここは革新的な幼稚園でこの園を卒業した子はどんな環境にも世界の文化にも適応できる能力をもつグローバルな子供を育てている

職員数 55人 園児 230人 うち 外国人が 40%

職員配置 18か月 4:1 3歳 6:1 4歳 8:1 5, 6歳 10:1

マレーシアのペナンとクアラランプールに姉妹校があり、イタリアで発案されたプログラムを使っている。

シンガポール用に少し調整しているが マレーシア園と均一化している

子供中心に子どもの為に基本的な考え方である。

★特色

物を作って売る、収入を寄付するなど グローバルな企業家の精神を育てるための準備、教育をしている。

★カリキュラムについて

イタリアのレッジョ・エミリアの表す「100通りの表現」というカリキュラムを使っている

毎日改善していく 先生によっては子どもの様子を見ながら 少しずつカリキュラムを変えて対応していく。

●英語 数学 プレゼントワーク

一期に一つのプロジェクトがある

EX 料理では cook uncook と 言葉も繋げて覚える

●すべてのクラスに中国語 英語の授業でも 必ず 中国語の先生がつく

●音楽 美術は 専門の先生が専用の部屋で教える

子どもの作品は博物館や美術館と提携してそこで展示されることで

子どもに自信がつくし親も成長を感じることが出来る

●運動 先生が指導する スキップなど

★方針について

●注意を払う 外へ連れ出し感情や文化的なことに注意を払う

●多様性を受け入れる 多国籍の子が多い

障害児も重度でなければ受け入れる (保護者が専門のセラピストをつける)

障害児も同じカリキュラムですごす

障害児と健常児が共に過ごすことで 相乗効果がある為

●hands on 手を使って工作をする

Mind on 数の教え方 服の着方

TT... 興味あるズズ

★地域の協力を得ている

警察の仕事を学ぶ 時は 本物の警察を呼んで 活動を勉強する

チャリティー活動を学ぶときはその団体を呼んで話を聞く

カリキュラムの中に 自分で制作したものを売ってお金を得て、それを団体に寄付すると

いうことを行うことで チャリティーの意味を学んでいる

前回4つの園で 1600S\$ (110万円) の収入を得た ほとんどを保護者が買い取っている

★先生について

シフト勤務をしている

拘束時間9時間 のうち休憩1時間

新しい先生を採用した時はトレーニングにお金をかけている

読み聞かせ法など

★施設について

●食堂は厨房が子どもたちから見えるようになっていて 調理に興味を持たせている

食堂にも簡単な調理が出来る施設があり 調理師が指導することもある little chef

18か月から簡単な調理実習をする (パイを作った)

また、作ったものをバザーで売っている

●図書館 子どもたちには本を読んでもほしいということからつくった 保護者も借りることが出来る

●子ども博物館 制作したものを飾る

●自由に遊べる ピアザという部屋がある

そこにはキッチンセットが設置されている (延長保育の部屋でもある)

●トイレ

男子と女子で分かれている

男性の先生は同じトイレに入れず外に行く

●果樹園 ドラゴンフルーツなどを栽培している

草を刈ったら 制作に使っている

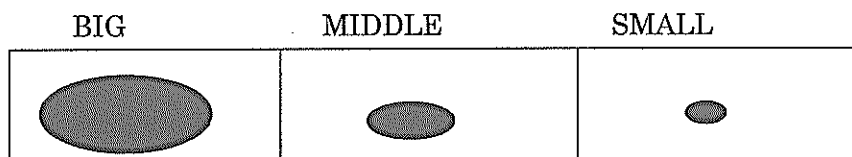
保育の中で栽培を取り入れている ちいさいこは草取りをする

収穫すると厨房に持っていき、調理してもらう

★保育の工夫

○3歳の部屋

数と大きさを学ぶ [マルはおもちゃ]



文字を覚える 3歳児はアルファベットは書かずに、テープでXを描いてXにみたてて 読み方を声に出す



またはUはどのように見えるか UMBRELLA [傘] の絵と組み合わせて 視覚的に覚える

○4歳の部屋

ダンスをやっていた パフォーマンスをすることで自信を持たせる

2歳児などは子ども劇場をやっても立っているだけで良しとする

3歳以上でパフォーマンスを始める

★保育料と保育時間

半日 7:00~13:00 1か月 1800S\$ (14~15万円) 助成金 150S\$ [12000円]

1日 7:00~19:00 1か月 2000S\$ (16万円) 助成金 300S\$ {24000円}

★保護者との連絡ツールについて

連絡帳は無い 会話と Eメール 写真をアプリにいれて2週間ごとにUPする

★出席確認は 玄関のタブレットに顔を映す

★その他 日々の保育について

●保護者は子どもの作品を高く買ったり 警察の学習の為に警官の洋服を作ったり、大変積極的に子供の関わっている

●3歳児のプロジェクトでは アラスカの氷の家(イグルー)を牛乳の空きペットボトルで作った

●気になる子の対応では自由遊びの時に 弱い子には特別の介助している

●子どもたちは床に座ることはさせない 先生と視線を合わせられるように

●そうすることで、自分は大切にされているのだと感じることが出来るから

クラスの一員であることを認識する為に自分のプロフィールを描いて貼っている

●卒園プロジェクトでは

コンサートを開くことになりコンサートとはどうおこなわれるのか?を学ぶ

壁に必要なこと、必要な仕事 やること を描き 実際やってみる そして 反省までやる

●男性保育士について

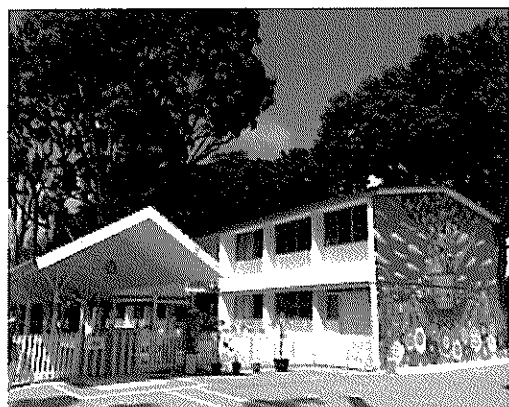
おむつ替えは一切しない 同じトイレは使えない 6歳の担任しかできない

それは 性犯罪に対する罰則が大変厳しい為に 男性保育士を守るためである

2016.10.14 PM

EIS インターナショナルプレスクール

2007年設立



HP より

★概要

日本人の為の幼稚園である

両親が日本人かどちらかが日本人、またはこれから日本に行く人が入園できる

4月が新学年の始まり

保育時間 9:00~15:30 延長保育はないが 年中、年長は放課後バレエのレッスンを受けている

日本語を母国語としているが、2か国語で保育している

保育者は英語 2 日本語 1 の割合で話す 必ず複数担任である

★クラス編成

同年齢クラスと異年齢クラスがあり、異年齢の方は卒園するまでそのクラスで過ごす

幼児数 100人 職員40名 各クラス3名づつ配置

子どもたちは英語の指示を聞いて行動することに慣れている

★方針

いま 困っている子に最大限にたっぷり愛情をかけている (アジア圏の先生は子どもにたっぷり愛情をかける)

そうすると子どもが落ち着くのも早い

大切にしていることは 先取り保育はしないということ

幼児期の今何が一番必要かを考える

自分でやってみたい 考える力を育てる

年齢に合っていないものを提供してもうまくいかない

創造力を育てる 相手の気持ちを考え、これをやったらどうなるのか?という創造力を育てる。

英語はこの先生と話したら 楽しいことが出来るという想いを大切にする

どういった話が出来るの?が始まりになる

1. 子供は成長するにつれてコミュニケーションが出来るようになるという考えを大切にしています

★先生について

保育士又は教員免許 と取得している人

日本人として主体性をもっているかどうか？の資質が大切

EX 箸の使い方 食事のマナー (外国人は立って食べるのを良しとする)、靴をそろえる
など外国人の先生の指導は大切 このように日本人としてのしつけを重んじている

★学習について文字を学習するときワークシートは一切使っていない

数は実際のことを教えて学習する

★カリキュラムについて

テーマが2週間に一つ 歌、手遊び、クッキング 園外保育

★成績表

半期に一度子どもの成長をレポートにして

成績表のようなものを出す EX スキップが出来るかなど 成長過程記録のようなもの

2歳3歳は毎日連絡帳を書くが、以上は子どもの保育が優先なのでない

★補助金についてインターナショナル幼稚園は外国人の為の施設なので政府からの補助金は一切ない

保護者のほとんどは会社から保育料をもらっている為 すぐに転園してしまう

ローカルカリキュラムでないので政府は冷たく 10年契約で入札で残れるか移設が決まる

残念ながらこの幼稚園はセントーサに移設しなければならなくなった

障害児は受け入れている その子の存在によって他の子ども良い影響を受ける

★行事について

日本とシンガポール両方の行事をする

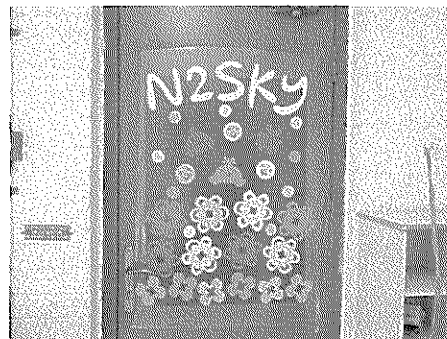
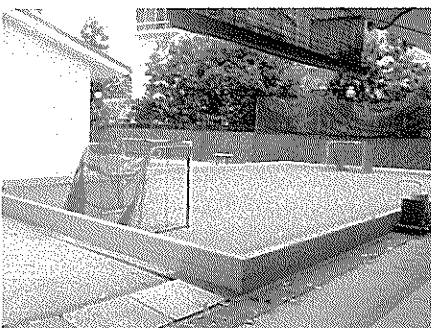
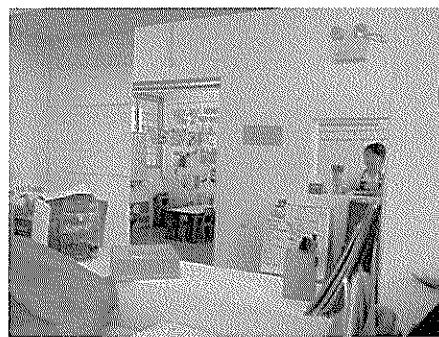
運動会はファミリーデーといって 親子で楽しむことをやる

発表会はいつもと違った場面を楽しむもので 親に見せるためにやるものではないと考えている

★保護者との連絡

先生と保護者の交換会があり、クレームに対して、説明をし、理解を深めている

その他は別紙参照



研修を終えて

出発前に下調べで訪問園のHPを読んできたが漠然としていてイメージがつかめなかったのが、実際にシンガポールの幼稚園にお子さんを通わせていた友人から現地事情や幼稚園のことを聞いた。彼女はご主人が日本の銀行に勤めており、6歳と3歳のおさんと共に12年前にシンガポールに転勤、約一年間滞在した。6歳の子は日本人小学校へ3歳の子は去年の法人研修で訪れた日本人幼稚園に通ったとのことである。保育料はご主人の会社から全額支給。カリキュラムに英語は一切なし、日本の四季の行事を大切にしていた。そして日本人幼稚園は一人一人を丁寧にみてくれた。彼女のおこさんのように何年かで日本に戻る子はほとんどはこのような日本人向けの幼稚園に通う。まれにローカル幼稚園に通おうと試みる保護者もいるが保育料が高く、カリキュラムの英語はともかく中国語についていけず断念する人が多いとのこと、まずは、日本人としての誇りを持ち日本の良さをわかり、日本の中で生きて行く力をつけてほしいということで日本人向けの幼稚園に入れたということだ。それを聞くと今回5つ目に訪れた幼稚園の先生も同じようなことをおっしゃっていたので多くの日本人向け幼稚園は保護者のニーズに応じていると思った。現地は熱く雨季は湿度も高いので涼しくなる夕方から夜にかけて皆外に出る。屋台のようなところはホーカーと言って現地の人の食事の場所である。貧困の差が大きく上層階級の大体の人は高度な教育をするローカル幼稚園に通わせ、シンガポール大学に進学させたいと願っているがほとんどの子は叶わないので、カナダなどの大学に行き、ローカルな発音を直して、箔をつけて帰ってくるらしい。5家庭にひと家庭位にメイドさんを住み込みで雇っている。メイドさんたちは時々ホーカーに集まって情報交換をしている。罰則が大変厳しい為に治安が大変良い。罰則が厳しいからか酔っ払いが街中にいない。ホーカーなどで昼からお酒を飲んでいる人はいないし、お酒を頼むとお店の人にびっくりされる。冷房の温度設定が低いのはシンガポール人は寒さに対する憧れがあるとのこと。この事前の情報は大変役に立ちシンガポールに赴いたときに現地情報がすんなり入ってきたので、聞いておいてよかったと思った。

感想

小さい国土であるがゆえに資源がなく人間こそ大切な資源であるという考え方から小さいうちから高度な教育を受けられるような環境が整っているシンガポール幼稚園の選択肢が多く、保護者にとっては大変ありがたく良いことだと思った。ただ、補助金が出るとしても保育料が高く、質の高い教育を受けるには一部の富裕層のみに限られてしまうという懸念があるように思えた。見学したどの園もその保護者の期待に応えるべくすばらしい環境とカリキュラムを屈指して保育をしており、先生方は子どもたちの成長の為に努力していることがうかがえた。またそれをレクチャーして下さる先生のプレゼンの能力に驚いた。それは、この国の教育方針の賜物であると考えられる。一方でまだこの国の幼児教育の制度は確立していなく、保育者の賃金や労働条件も見直すところがあるようで今後どう発展していくか動向を見たいと思う。幼稚園の教育に関しては、日本とは風土や国の方針が違うために英才教育ともみられる保育を見ると初めは尚徳の方針とは違うように思えたが、無理せず子どもたちの意欲をかきたて楽しい保育をしているところは

また、子どもの数と対応する先生の数であるが三歳は7人につき1人 など 全体的に職員一人に対する子どもの数が少なかった。

これは7人が対応できるぎりぎりの線であるという話から 日本では20対1ということのを考えると日本の先生は負荷がかかっているのではないかと思う。今後子どもたちのためにも 保育士の為にも その辺を改善していただきたいとおもう。

そして、先生方は仕事に対してとてもドライで 残業や家に持ち帰りなどしないということだ。

よく、日本人は残業が多く 家に持ち帰って仕事をするが このような点は海外の働き方を真似したいし そうなるように 政府にも改善をお願いしたいと思う。

この研修に参加したことで、見聞を広げることが出来、また法人の他の保育園の方々とお会いし 楽しく過ごす中で情報の交換をしたことで、自分を見つめ直し、今後の保育を考える きっかけができた。

改めて

シンガポール研修に参加させていただいたことに感謝して このレポートの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、一緒に参加し、一緒に過ごしたみなさん エージェントの方、案内して下さった柳田さんありがとうございました。

Eis

International Pre-school 2016




<East 校>

7 Seraya Lane
Singapore 437275
Tel: 6348-4780
Fax: 6348-4781

<West 校>

21 West Coast Road
Singapore 127309
Tel: 6777-2911
Fax: 6777-2922
staff@eisintl.com

主な年間行事予定

4月	★ クラス懇談会	11月	ディーパバリ
5月	こどもの日 K2スイミングレッスン開始	12月	★ パフォーマンスディ クリスマス パーティー K2 お泊り保育 クリスマス、新年休み(約2週間)
6月	★ Family Fun Day 避難訓練	1月	開園記念行事(餅つき) クラス写真撮影 ★ 保育参観
7月	たなばた ★ Summer Festival 遠足(N1) ハリラヤ	2月	節分 チャイニーズ ニューイヤー お別れ合同遠足(K2)
8月	ナショナルデイのお祝い 夏休み(第2週目)	3月	ひなまつり ★ 卒園式(K2) お別れ会 年度末の休み(約2週間)
9月	Teacher's Day Celebration ★ 個人面談 遠足(N2~K2) 歯科検診 ランタン フェスティバル		
10月	Children's Day Celebration 遠足(N Level & K Level) 避難訓練 ハロウィン パーティー		

2015年度の行事参考

★マークは保護者の方の出席、参加の行事

* 毎月1回、月の誕生会を行います。該当園児の保護者の皆様は御参加ください。

『自由でのびのび、生き生き、本気で子ども主義のバイリンガル幼稚園』



「自分が大切な存在であることを認識する。小さいから、可愛いから、何かが出来るからではなく今ここに存在することが大切で大きな価値があることを理解する。そして、隣のお友達も自分と同じように大切な存在であることを理解する。」
このことが理解できれば、躰やルールは自然と身についてくると考えています。

嬉しいね、きれいだね、良いにおいだね、楽しいね、美味しいね、かっこいいね、をたくさん体験し、幸せをいっぱい感じる心を育成します。生きてると楽しいこと素敵なことたくさん出会える事を体験して、幸せをいっぱい感じられる心を育成します。

自分が大切な存在であることを理解し、生きていることは楽しいこと嬉しいことがたくさんあることを知るにより生きる力がもりもりと湧いてきます。愛情いっぱいの先生方に囲まれてワクワクのびのび楽しいことをいっぱいしましょう。

子どもたちの今と未来を幸せにする

目的は「子どもたちの今と未来を幸せにする事です。」その中心がやってみたい事がたくさん湧いてくる、やってみたいエネルギーを大きくする事です。おもしろそう、どうなっているんだろう、触ってみたい、やってみたいと言う気持ちがある事が年齢を問わず幸せでいられる中心だと考えます。

やってみたいエネルギーを大きく育てる為に一番大切な事は自信と安心です。お父さん、お母さんから愛されているのは勿論だけれど、お父さんお母さん以外にもあなたの事を大切に思っている人たちがたくさんいる事を理解ではなく心にしみ込ませてほしいのです。しかも、いろいろな人種の先生方があなたの喜びや幸せを心から願っている事をしみ込ませてほしいのです。何が出来るとか、何をもっているかではなく、生まれてここにいる事があなたはとても大事で価値のある存在なのです。もう一つ、幸せに敏感になってほしいのです。今日はこんな楽しい事があった。明日も明後日も来週も来月も10年後も20年後も楽しい事がいっぱい待っている事を期待してわくわくしながら毎日を過ごしてほしいのです。

「あなたはとても価値があって素晴らしい人間なのです。」「あなたの未来は輝いているのです。」この二つの自信をしっかりとつけてほしいのです。この二つの自信が子どもたちの今と未来を幸せにする最も大切な事だと思います。

愛情の循環

幼児期には愛情をたっぷり与えられる事が最も重要です。しかし、成長するに従って同様に大切になってくる事が自分が他人に愛情を与えるようになる事です。血液と同じで愛情も循環させないと腐ってしまいます。その状態が、暴力的になったり、引きこもってしまったり、精神的に不安定になります。愛情をだす為に小動物を飼ったり植物を育てたりします。先生のお手伝いもそうです。しかし最も効果がある事はお友だちの為に何かをする事です。特に障害を持ったお友だちが居ると、自然に理解し手を貸す事を身につけます。他の人の役に立つ事の喜びを学ぶ事が出来、たくさんもらった愛情を循環させる事が出来るようになります。精神的にとっても豊かに成長して行きます。違う一人一人が集まって一緒にいる事が素敵な事だと気づいてほしいと思っています。出来る事も違えば、出来ない事も違うのです。そこを補い合う事が愛情の循環を生むのです。助けられた方よりも助けた方がより多くの心の豊かさを与えられているように思います。

統合保育(障害のある園児・発達支援を必要とする園児)

健常児も含め、全園児が安全かつ十分に園生活を楽しめると判断した場合はできるだけ積極的に受け入れさせていただいていますので、入園前にご相談ください。無理のない範囲で一つの個性として扱い活動に参加していただきます。療育は行えませんが、健常児とともに活動し社会性を学び活動を楽しんで頂きます。

また、健常児にとっても障害児とかかわることは心が豊かに成長するとても大切な機会と考えております。愛情を受けるばかりではなく、愛情を与える側にもなることは、愛情の循環を良くし豊かな心の人間形成にとっても役立ちます。

子どもたちは一人ひとりがとても大切な存在でありどんな時も掛け替えの無い友人であることをきちんと学んでほしいのです。助け合い、尊重しあってほしいのです。それができない限り真の意味での幸せはありません。

Eis の(イーズ)とは

イーズの意味は「安心(Ease)」です。子どもたちやお父様お母様にとっていつも、いつまでも安心できる存在でありたい。そして、安心して子どもを預けられる場所。それが、イーズの由来です。

3つの想像力育成から創造力

① 人の気持ちを理解する想像力

自分が大切な存在であることを認識し、友達も大切な存在であることを理解する。そして自分の行動や発言が大切な友達にどう影響するかを考える創造力を養います。

② 立体の想像力

クッキングレッスン。木、紙、空き箱による製作。砂、ねんど、ブロック遊びなどを通し、作ったり、切ったり、ちぎったり、壊したりする経験から立体空間の創造力を身につけます。

③ 時間の経過による変化の想像力

植物が育つ、日が昇り沈む、雲が黒く覆い雨が降る、水が流れる、風が吹く、車が走る、など長い時間の流れから短い時間の流れまで、事物が変化する過程を観察、体験し時間の経過による変化を想像出来るように導きます。

以上の3つの創造力を育成することにより、全く新しいものを創造する力を養います。



イマージョン教育

無理なく自然に英語習得を図るためにイマージョン(immersion)教育法を取り入れています。保育の言語を英語で行い、自然に英語を習得させる教育プログラムです。英語を教え込むのではなく、指導する手段として使います。つまり、園児は歌、踊り、ゲーム、製作、クッキングレッスン、遊びなど園での自然な生活を通して体験に基づき英語を習得していきます。

英語教育

語学を取得する一番の楽しみは人とのコミュニケーションだと思います。正しい文法やスペリングを覚える前に、英語でのコミュニケーションを楽しむ事が大切です。始めに先生との信頼関係が出来上がらなければなりません。次に愛情が生まれ、この好きな先生の言っていることを理解したくなって来ます。また、この好きな先生に自分の気持ちを伝えたいようになります。そして、友達のまねをしたり、先生の言葉を口真似したりして、英語を理解したり話したり出来るようになるようになります。先生と信頼が出来れば理解したい、伝えたいというエネルギーが湧いてきます。まずは英語を使って意思の疎通ができること、相手の思いを理解し、自分の思いを相手に伝えられることを充分に楽しむことが大切です。それがその先の英語力の伸びに大きくかかわっているようです。

子どもたちは70~80パーセントは状況判断。前後関係、雰囲気、先生の表情から言葉の意味する事を読み取っているようです。全く英語のわからない子どもであっても、安心できる環境であるならば、多少の戸惑いはあるものの、友達や先生方と園生活を楽しんでいる中で強制されなくても自然に身についてくるようです。

日本語教育

通常保育における日本人保育者からの語りかけを中心にさまざまな行事、読み聞かせ、活動を通じて正しい日本語の語彙、慣用句、の使い方を学びます。また、言語を学ぶことによって、日本の文化を深く知ることが出来、日本人としてのアイデンティティ(自我同一性)を確立します。

ジャパニーズインターナショナルスクール

イズは日本人の為のインターナショナルスクールです。日本人としてのアイデンティティー、立ち振る舞い、常識的感覚を身につけた上で他の国の文化を受け入れ理解する力をつける事が大切です。私たちにとって、大切な言葉は 英語より日本語です。日本語力があるという事は言葉についての理解が深くなります。 幼児期には豊かな日本語環境も十分に与えた上で英語教育をしていかないと日本語が稚拙になってしまい、思考そのものが稚拙になる危険性が非常に高いのです。大切なことは、楽しく五感を使った豊かな環境の中で日本語、英語の順番でたっぷりと言葉を楽しむ事だと思います。大人側の満足ではなく子どもたちが、面白い、楽しい、嬉しい、そんな思いが沢山出来る環境を作っていきたいと思います。また、インターナショナル教育として大切な事は、世界と自分が繋がっているのだという思いです。インドで紛争が起きた〇〇先生の国はインドだよ、先生のご家族は大丈夫であろうか？アメリカやイギリスどこの国でも遠い国の他人事ではなく、自分の大切な人の国である可能性が高く、痛みや喜びを自分の事の様に身近に感じる感覚を養う事が大切だと思います。

カリキュラム

2週間毎に定めたテーマに沿ってカリキュラムを構成します。体のことから、宇宙のことまで、子ども達はテーマに沿って総合的に物事を学びます。既存の指導要領にとらわれることなく、子どもたちの必要に応じて適切に保育活動を進めます。このことから「自由にのびのび」多種多様な教育活動が行われます。

外部の講師による活動

園の職員のみでなく色々な方々から刺激を受け、子ども達の興味を広げ、自信をつけていくために特別な一斉活動を行っています。講師はターム毎(1タームは3か月)、East/West 交互に、計半年行います。

- | | |
|---------|---|
| <K2 年齢> | サッカーコーチによるボールを使った運動遊び
体操指導
ローカルの水泳コーチによる英語でのスイミングレッスン(5回有料) |
| <K1 年齢> | 体操指導 |
| <N2 年齢> | ダンスの先生によるダンスレッスン |



保護者の関わり

保護者は特別な行事以外はいつでもご見学下さい。ファミリーファンデー、サマーフェスティバル、パフォーマンスデイなどの行事には積極的なご参加をお願いします。

クラス懇談会や保育参観、お子様の園での様子や発達などについてお話する個人面談がありますが、普段から積極的に担任や園長と連絡をとって頂くことをお勧めします。

また、保護者とイズ双方の理解を深め、より良い保育をするためにクラスマザーの会を設けております。各学年2名の代表の方に集まっていただき定期的に話し合いの場を持ちます。積極的にご意見をお出し下さい。

East 校は 3 時、West 校は 3 時 30 分以降いつでもお電話下さい。

クラス

Eis West には、同年齢児クラスと N2(年少)から K2(年長)年齢の子どもたちが一緒に活動する異年齢児クラスがあり、N1 から N2 に上がる際は、進級するクラスの希望を取り、クラス編成をしております。定員以上の希望がある場合は、登録の早い方の希望を優先させて頂きます。

2 クラスある異年齢児クラスでは、週に 2 日間、異年齢児クラス間で、同年齢児同士活動する時間を設けています。

そのほか、Theme、行事や外部の講師による特別な活動に関しては、同年齢児クラスと同じ内容で行われます。

* Eis East は、同年齢クラスのみです。

入園年齢 及び 定員数と担任数

<East 校>

K2 クラス	2010年4月2日生～2011年4月1日生
K1 クラス	2011年4月2日生～2012年4月1日生
N2 クラス	2012年4月2日生～2013年4月1日生
N1Blue クラス	2013年4月2日生～2014年4月1日生
N1 Red クラス	2014年4月2日生～2015年4月1日生 (満2歳の誕生日から入園可能)

クラス	定員	担任 (英語)	担任 (日本語)	アシスタント (英語)
K1/K2	30 名	1名	1名	必要に応じて
N2	30 名	1名	1名	1名
N1 Blue	24 名	1名	1名	1名
N1 Red	12～14 名	1名	1名	必要に応じて

<West 校>

同年齢クラス	K2 クラス	2010年4月2日生～2011年4月1日生
	K1 クラス	2011年4月2日生～2012年4月1日生
	N2 クラス	2012年4月2日生～2013年4月1日生
	N1 Moon クラス	2013年4月2日生～2014年4月1日生
	N1 Raindrop クラス	
N1 Star クラス	2014年4月2日生～2015年4月1日生 (満2歳の誕生日から入園可能)	
異年齢児クラス	Milky Way/Aurora クラス	2010年4月2日生～2013年4月1日生

	クラス	定員	担任 (英語)	担任 (日本語)	アシスタント (英語)
同年齢児クラス	K1/K2	30 名	1名	1名	必要に応じて
	*N2	30 名	1名	1名	1名
	N1 Moon	24 名	1名	1名	1名
	N1Raindrop	16 名	1名	1名	状況によっては、定員数を 24 名まで増やす場合もあります。その際は、アシスタントが 1 名つきます。
	N1 Star	12～14 名	1名	1名	必要に応じて
異年齢児クラス	Milky Way Aurora	25 名	1名	1名	各クラス 1 名

*N2-場合によっては一時的に定員を2～3名超えることがあります。